

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3CN-2202
研究課題名	プラスチック等脱炭素広域循環経済と食品廃棄物地域循環による環境・経済効果の最大化
研究実施期間	2022年度～2024年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	藤井 実

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

プラスチックを含む炭化水素系の廃棄物を対象に、廃棄物の特性に合わせた地域内と広域のリサイクルを適切に組み合わせた効率的な処理・リサイクルシステムを検討しており、その実現可能性や費用対効果を総合的に評価している。とくに、非効率な単純焼却され有効利用されていない食品廃棄物に注目した点は良い。これらの成果は、環境行政に大きく貢献するものと判断する。

なお、すでにプロセスからの蒸気生成の最適化が進んでいる化学コンビナートへの外部からの蒸気供給が、その需給バランスにもたらす影響を十分考慮することが期待される。また、蒸気配管の建設コスト、食品廃棄物・プラスティック廃棄物の安定的で低成本の確保などの課題も今後考慮することを期待する。